

授業科目名 (ナンバリングコード)	プレゼンテーション・討論 I (113A0-2304)	授業形態	演習	授業科目区分	一般科目 (総合科目)				
担当教員名	脇谷 聖美			補助担当者名					
単位数	1 単位	履修年次	2年次	受け入れ人数	60				
授業の概要	本授業は、相手の立場に立って、自分の魅力や伝えたいことを自分の言葉で表現できるプレゼンテーションに関する基礎理論の理解および基本スキルを培うことを目的としている。具体的には、指導や支援の場面で活かせる相手の状況を聴き出すインタビュー、考えや専門性を伝える場面で活かせる相手を惹き付けながら理解・合意・行動へと導くプレゼンテーションなど、相互理解と円滑なコミュニケーションの力が身につく。テキストの事前精読を踏まえて、基礎理論と基本スキルは対話型講義と演習で理解し、演習はフィードバックをおこなう。さらに、グループワークやグループディスカッションを通して、受講者間の相互理解と創造的かつ発展的な結論を出す討論の基礎力も身につくことも期待している。授業は集中授業で、2日間実施する。								
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標		成績評価の方法						
	D Pで 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理 (科学的表現力)	授業期間				定期 試験	その他	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表			
	■認知的領域	・相手の状況を的確に把握するためのインタビューに関する理論を理解している。 ・自分の考えを的確に相手に伝えるプレゼンテーションのシナリオを理論に基づいて作成できる。	○		○				30
■情意的領域	プレゼンテーションや討論について興味・関心を持ち、それを積極的かつ受講生同士で協力して探求する。	○			○			20	
■技能的領域	・相手の状況を効果的に把握するインタビューができる。 ・相手の立場に立って、自分の魅力や考えをプレゼンテーションできる。 ・討論等で、その課題を達成できる。	○			○			50	
成績評価の基準	授業の取り組みは、積極的な授業参加の状況、各演習（発表）と課題レポート等は課題に対する真摯な取り組み及び出来具合について、総合的に評価し、単位認定をおこなう。								
テキスト、教材 参考書	テキスト：書籍『パーフェクト・プレゼンテーション』 ＊必携、＊授業実施日までに事前精読（学内売店）、＊事前精読を前提に授業をおこなう （八幡紘史著、アクセス・ビジネス・コンサルティング株式会社発行、本体価格@3000円） 参考資料等は、授業時に適宜配布する。 参考図書：書籍『自分の考えをしっかりと伝える技術』（八幡紘史著、P H P 研究所発行、本体価格@1200円） 書籍『話ベタでも100%伝わる「3」の法則』（八幡紘史著、ダイヤモンド社発行、本体価格@1400円）								
履修条件・ 関連科目	2年次以上であること。	備考(教員メッセージ含む)	択科目であるが、コミュニケーション力を効果的に方向付けるので履修することが望まれる また、テキスト精読前提で演習中心の授業をおこなうので、必ずテキストを準備し、精読しておくこと						
オフィス・アワー	教務課・キャリア支援係へ相談下さい。適宜、担当教員との連絡調整をします（月～金、9:00～17:00）								
授業計画									
回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)						
1	脇谷 聖美	オリエンテーション、プレゼンテーション演習、課題の抽出	テキスト第1～5章の事前精読（12時間）						
2	〃	相手の状況を聴く、インタビュー演習、プレゼンテーション演習							
3	〃	伝わる基本構造、プレゼンテーション演習							
4	〃	相手の興味を惹く話の組み立て方、プレゼンテーション演習	課題レポートの取り組み（30分）						
5	〃	稔りある討論の仕方、グループディスカッション演習①							
6	〃	グループディスカッション演習							
7	〃	プレゼンテーション演習							
8	〃	受講成果プレゼンテーション、相互評価、授業の振り返り	テキスト再精読、日常での実践						